

4業種とも前年比増

スーパー、食品スーパーの青果が好調

小売業界の4団体は5月の取扱高を発表した。

スーパー(日本チェーンストア協会、50社・93

57店舗)の取扱高は1兆1246億円。既存店

で前年比5.7%増加、2か月連続のプラスとなっ

た。食料品は相場高の影響もあり、農産品・畜産品

を中心に好調に推移し、前年比6.3%増の71

3.6億円。野菜はトマト、キュウリ、キャベツ、レタ

ス、アスパラガス、カット野菜などの動きは良かったが、豆類、ハクサイ、タ

マネギ、レンコンなどの動きは鈍かった。果物で

は、バナナ、キウイ、マンゴーなどの輸入果実が

好調だったが、メロン、スイカなどが不調だった。

食品スーパー(新日本スーパーマーケット協会

など3団体、275社・7416店舗)の取扱高

は8760億円で、既存店で前年比5.2%増加

した。食品では青果の9.7%増、惣菜の6%

増などを受け、全体で5.2%伸長。地区別で

は、全てのエリアで前年を約5%上回った。

百貨店(日本百貨店協会、82社・239店舗)の取扱高は4886億

円。既存店で前年比6.

3%増、2か月連続プラスとなった。商品別で

は、食料品は1175億円で前年比0.4%増に

とどまり、生鮮食品は1.4%減少した。

コンビニ(日本フランチャイズチェーン協会、

10社)の取扱高は既存店で7885億円。前年比

1.6%増で2か月連続のプラスとなった。全国

的に降水量が少なく平均気温が高かったためソフ

トドリンクなどの夏物商材、淹れたてコーヒーを

含むカウンター商材やおにぎりが好調に推移。来

店客数は微増の13億3536万人で4か月連続プ

ラス、平均客単価は1.5%増の590円、2か月連続プラスとなった。